

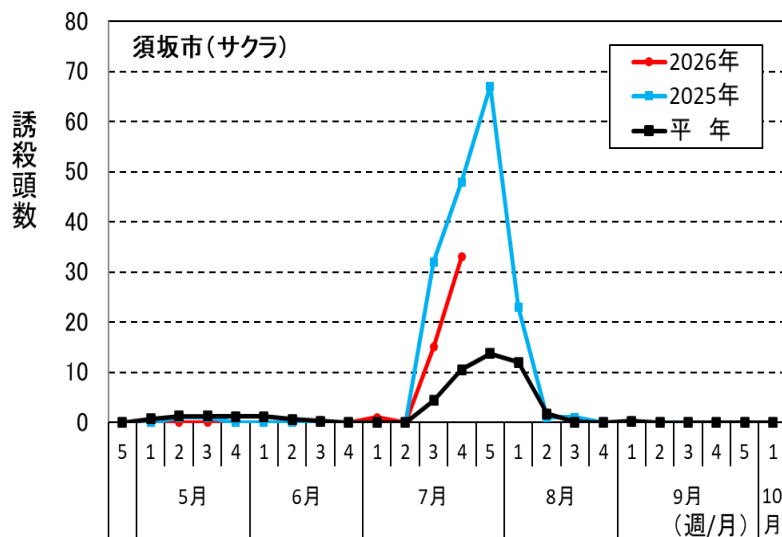
アメリカシロヒトリのフェロモントラップ誘殺消長 [2026 年調査]

病害虫防除部

【発生生態と防除のポイント】

- ・年2回発生する。越冬世代成虫は5月中旬～6月上旬、第1世代成虫は8月上～中旬に発生する。成虫の寿命は5～10日ほどである。
- ・リンゴ、ナシ、モモ、ウメ、アンズ、クルミ、サクラ等の街路樹に寄生する。
- ・成虫は体長約15mm、純白の蛾であるが、越冬世代の雄には翅に褐色または黒色の斑点が散在する。
- ・若齢幼虫期は群生しているので、被害が著しい場合にはその部分を枝ごと切り取って焼却処分することが有効である。
- ・薬剤による防除効果は高いので、幼虫が分散した後は殺虫剤により防除する。

○須坂市（病害虫防除部）



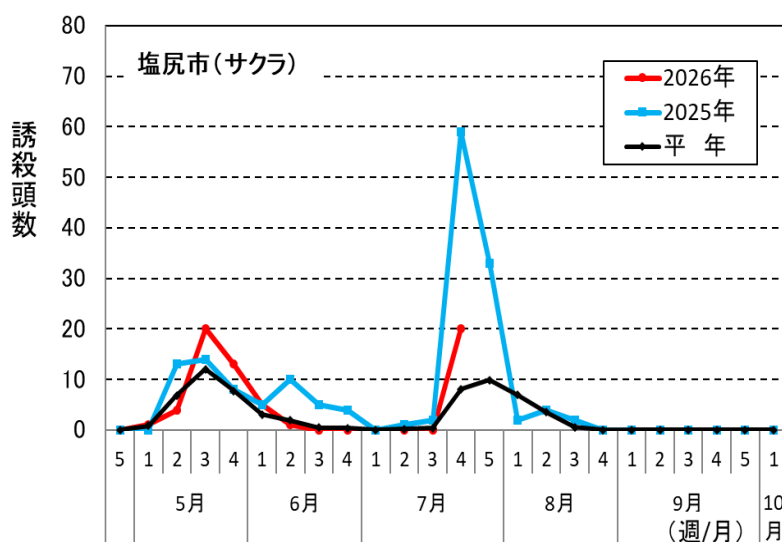
【調査地点】

- ・須坂市小河原（標高約350m）
- ・平年は2016～2025年の平均値

【コメント】

・7月第1週に今年初めて1頭誘殺され、その後、誘殺数が一気に増加してきている。ただし、平年よりは多いものの、昨年同時期よりは誘殺数が少ない。

○塩尻市（病害虫防除部）



【調査地点】

- ・塩尻市宗賀（標高約750m）
- ・平年は2016～2025年の平均値

【コメント】

・本年は6月中旬から誘殺がなくなっていたが、昨年同様7月第4半旬に、再び誘殺がみられ、今年度の最大ピークにつながる可能性がある。

・本地点も平年より多いが、昨年よりは少なくなっている。